川崎ゼミ・春セメまとめ

７AWK1137 小向　美穂

* 春セメスターの統括

研究内容のふりかえり：

国内の映画祭の内情やしくみを重点的に研究。フィルムコミッションについては大筋のしくみは理解することができた。「映画祭でまちおこし」というテーマの中に具体的な事例をあげるまでには至らず、海外の映画祭の事例も詳細に説明できるほどの知識は浅いままになってしまった。

また本来の目的である「地域貢献のための映画祭」というテーマから徐々に離れつつあるので、映画祭に限らず映画事業に拡大して調べてみる。「地域貢献のための映画事業」。

具体的行動：

春休みにかけて夕張国際ファンタスティック映画祭に視察。映像メディアアートを推進するためのシンポジウムを講聴する。韓国、アメリカ、ハンガリーの３カ国の芸術系大学、教育機関などの紹介と今後のメディアアートへの教育進展について話されていた。

５月にEARTH VISION 地球環境映画祭を見に行く。

予定：市内、近郊には小規模の映画祭がけっこうやっているのでそれに参加。

秋学期の研究課題：

* 海外の事例とそのイベントの特徴、規模、長所・短所などざっと比較一覧を作成
* より国内の映画事業を探るため、全国のフィルム・コミッションにアンケートを作成し、その解答から問題点を探る
* 実際にショートフィルムを制作する　＊研究とは別に
* 世間の映画への関心の推移なども参考にしながら、いかにして映画祭をもっと身近なものとして浸透できるか探ったうえで企画書を作成する

共通プロジェクトの感想：

東京で学んだワールドカフェがあっという間にゼミに浸透し、スウェーデン大使を招いた大規模なものになるとは思わなかった。あのプロジェクトを通じて一番感じたのは、リーダーに適した人に任せた方が何事もスムーズにいくと思った。何度かワールドカフェに参加するたび、多様な見解を聞いたり知るだけでなく、相手の人柄も分かってくるようになった。それからずっと前から思っていたのですが、一度ゼミのメンバーでやってみると面白いことが起きそう？な気がします。

当別町のイベントについては、映画上映も盛り込めたらな！と考えています。具体案はまだありませんが、道内の映画祭委員会にかけあえば作品の上映許可が出るかもしれません。